

2020年度 第5回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2020年11月10日(火) 17時45分～19時00分
開催施設 参加者数	金沢大学3名、富山大学6名、福井大学2名、石川県立看護大学7名、信州大学6名、 金沢市立病院2名、金沢赤十字病院0名、石川県立中央病院5名、浅ノ川総合病院0名、 公立松任石川中央病院0名、公立能登総合病院0名、石川県済生会金沢病院0名、 富山県立中央病院4名、金沢医科大学氷見市民病院0名、 富山労災病院0名、黒部市民病院6名、富山市民病院3名、富山赤十字病院0名、 長野赤十字病院4名、諏訪赤十字病院0名、福井県立病院5名 会場参加 計53名 その他 個別のオンライン参加 計67名 合計120名
テーマ	「予後不良な思春期の子どもに病状を伝えることを望まない家族との関わり」
発表者	富山大学附属病院 樋口 麻衣子さん
【意見交換内容】	・患者本人の手術経過(身体的症状)や化学療法中の会話、病変を取り除くまでの本人の思い、手術に対する本人の思い、父親のご家庭での状況、母親に対するケアについて質疑応答があった。また、訪問看護師によって、退院後の患者・家族の様子が報告された。 ・今回の事例は結局家族に焦点がいつているという意見や、子供自身がわかっていても親のためを思って黙っていたのかもしれないという意見があった。
ミニレクチャー	「子どもが自分自身のがんについて知ることについて」